

Rest API DELETEを実装する ～ @DeleteMapping

商品情報を削除する場合は、HTTP DELETEを利用した、削除対象のIDを特定するAPIを作成します。Controllerクラスには、@DeleteMappingアノテーションでAPIのURLを設定します。また、@PathVariableアノテーションで指定された削除キーを取得します。



DELETE: 商品情報を削除

http://localhost:8080/items/10001

Controllerクラス

```
44 @DeleteMapping("/items/{itemId}")  
45 public void deleteItem (@PathVariable("itemId") String itemId) {  
46     itemService.deleteItem(itemId);  
47 }
```

【@DeleteMapping】

- ✓ HTTP DELETEリクエスト用のアノテーション
- ✓ value属性 (省略可)にURLを指定

実機演習の流れ

■ 前回の演習で作成したRest APIを拡張します。以下①～④の手順で演習を行います。

- ① サービスに商品削除処理を追加
- ② RestControllerクラスに商品削除Rest API (DELETE)を追加
- ③ Clientからデータを削除
- ④ 削除された事をRest API GETを利用して確認

